

係新体制について (引継ぎ)

一年間学生代表として活動してきましたが、皆様のご協力のおかげで無事に引継ぎが行えること、大変嬉しく思います。本当にありがとうございます。正直各係の担当学生がみんな積極的に動いてくれたので、自分の仕事はあまり無かったようにも感じます。各係の皆様、お疲れ様でした。さて11月から新しい係になるということで、今後研究室がどう変化していくのか非常に楽しみです。特に次期係は係活動経験者(M1)が多く、お互いの仕事のことや前係の反省点を分かっていると思います。その強みを存分に生かして是非頑張ってください。

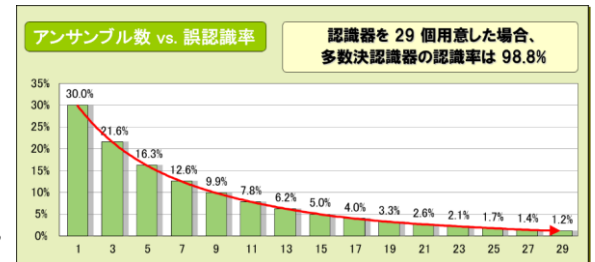
P.S. 係ミーティングで活動報告だけでなく、沢山意見や提案が出るようになると素敵です！
執筆:宮田 竜輔

先生コラム～生徒から先生へのQ&A～【山口先生】

Q1. 学生時代の研究テーマ・そのテーマにした理由

A1. 学生時代から機械学習の研究をしていました。学習によってコンピュータが賢くなっていくという所に魅力を感じて、当時、機械学習の研究室に配属希望を出した記憶があります。機械学習の中でも、特にアンサンブル学習の研究がやって楽しかったです。アンサンブル学習というのは、例えば、株の上下を予測する機械を100台用意し、それらを単純には多数決をとる等してまとめ合わせるという学習法です。

なんとなくわかるかと思いますが1台の機械で株の上下を予測するよりも100台用意して多数決した方が精度が良くなります。右図は当時作成した図で、予測する機械をたくさん用意すれば株の上下を間違える確率が下がっていく、を表した図です。



Q2. 先生になったきっかけ・先生になってよかったこと

A2. 先生になったきっかけは、やはり学生時代の研究が楽しかったからだと思います。以前にも書きましたが、山口は博士前期課程を修了した後、ソフトウェア開発会社でサラリーマンをしていました。サラリーマン時代に指導教員の先生と飲みに行く機会があり、そこでまた研究したいと話していたら研究しても良いですよとなったのがきっかけかと思います。先生になってよかったことは、サラリーマン時代と比べて自分の裁量で多くの仕事(研究テーマなど)が決められる点かと思います。自分の裁量で研究テーマ等を決めて進めていますので仕事をやらされている感が薄いです。自己責任ですので失敗したときはきついです。そのような背景から学生の皆さんにもぜひ自分で研究テーマを決めて欲しいと考えている訳です。

Q3. 趣味・休みの日にしていること

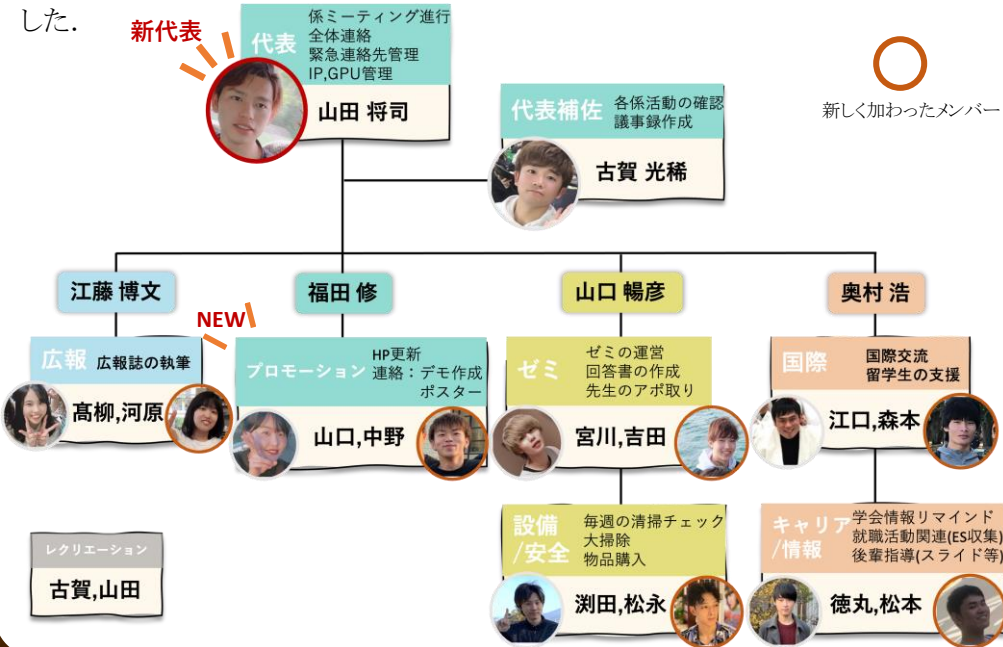
A3. 子育て(右図)。



執筆:山口 暢彦

新係表(2021年度後期)

11月から院進学予定の4年生が加わります。環境整備と設備・安全が合併し設備・安全係になり、CPS研のHP更新等を担当するプロモーション係が新しくできました。



インターンシップ体験談



「IT・通信業界」の会社のインターンシップに参加したM1の徳丸さんに、体験談を書きいただきました！

1Day・オンライン開催のインターンシップに参加しました。様々なセンシング技術の研究・開発を行っている会社ですが、このプログラムでは人の表情に注目したセンシング技術を使った商品の企画立案を行いました。まず3人1組のグループに分かれて50個以上の案を出し合い提案する商品を決めました。その後ターゲットやお金の流れを考慮したビジネスモデルを考え、商品企画書を作成し、最後は役員の方に向けて商品の提案を行いました。初めてでしんどい場面もありましたが、企業側の視点に立って物事を考えるいい機会だったと思います。

執筆: 徳丸 拓希

Sharing my local town

みなさんはホワイトタイガーを知っていますか？ホワイトタイガーは世界に約250頭、日本国内には30頭しかいない希少な動物です。私の地元の大牟田市動物園にはそのホワイトタイガーがいます。真っ白な毛並みに入った黒の模様、かっこいいですね。他にも、リスザル、アザラシ、クマ、モルモット、ヤギ、リクガメなどたくさんの動物がいます。ヤギには餌をあげたり、モルモットは触ることもできます。是非行ってみてください。

福田研B4
志田亮介



福田研M1
高柳美保



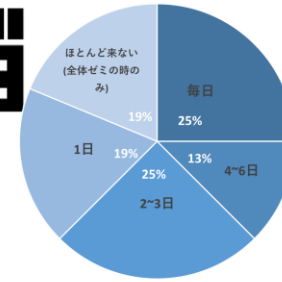
私の地元、福岡県の「このしまアイランドパーク」について紹介します。季節によって異なる種類の花が咲いていて、ひまわりの時期には1本摘んで家に持って帰ることができます。「能古島サイダー」を買って、その空き瓶にひまわりをさすと映えるのでオススメです！また、虹色の傘やしゃぼん玉を使って写真撮影をするのも楽しいです。自然に触れなくなった際にはぜひ足を運んでみてください！



引用: <https://omutacityzoo.org/animal/page/2>

研究室アンケート結果

週に何回研究室に来ますか 研究室に関する意見 対象: M2, M1, B4 (16人/20人中)

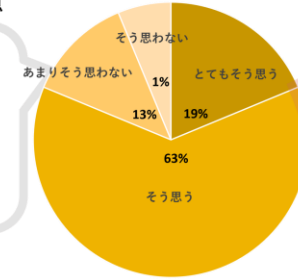


- 名簿と写真が一つになっているものがあれば名前を覚えやすい
- 研究室の改善について気軽に意見できるフォームを開発してほしい
- 全体ゼミ準備をするメンバーが固定されている → マニュアルを作成する
- 研究室のものを自費で購入している人がいる → 買ったものと金額の共有
- 少し無機質で憂鬱を感じる → 植物とかを置いてほしい
- デスクの埃が気になる → 小さな埃取りがあると良い
- 係の役割でもう少し気配りしてほしい
- (「あれは誰かがやってくれるだろう」と思って行動していない)

全体ゼミに満足していますか

満足していない点

- 学生からの質疑応答が少ない
- 学生の質問するメンバーが固定されている
- 質問をして盛り上げたい (素朴な疑問でも)
- 専門的な内容があり、一度聞いただけでは理解できない



満足している点

- 様々な意見や質問をもらえることで色々な考え方を身につける事ができる
- 大人数の前で発表する良い経験になっている
- スライドを作る、人前で発表する練習になる、参考になる
- 研究に対するモチベーションになる
- 他の研究について知る事ができ刺激になる
- 自分では気づかなかった課題の解決策を知る事ができる

研究室は来やすいですか 対象: B3 (20人/21人中)

来ない理由/行こうと思う

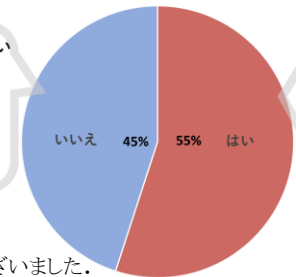
- まだ居場所がない気がして、居づらい
- どんな時に行けば良いかわからない
- 最初の数回を集合とすると、その後行きやすい
- 遊べるものがあれば行きやすい etc..



アンケートへのご協力ありがとうございました。

来やすい理由

- 先輩方との雑談
- 研究室で実施される企画に参加するため
- 課題やオンデマンド授業を受ける
- 参考書を見る
- 課題以外のしなやかないけなさを聞く
- 準備演習を行うため etc..



編集後記

●3年生全体ゼミに参加

スライドや発表の仕方を勉強できた、研究内容が面白いと思った、刺激をもらった、しっかりとした雰囲気を感じたなどの感想の他に、研究内容の理解が難しい、自分が発表の時に先輩のようにできるか不安という感想もありました。

●背景写真(撮影: 江藤さん, 右の写真)

今月号の背景は、江藤さんが撮影されたバルーンフェスタの写真です。今年はオンラインで開催されるみたいなので、楽しみです！

